



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UCS

コード番号 8787 URL <https://www.ucscard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0587-24-9028

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	4,957	1.1	915	△10.9	915	△10.9	575	△5.1
28年2月期第1四半期	4,902	6.8	1,027	55.1	1,028	54.8	606	81.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	30.60	ー
28年2月期第1四半期	32.23	ー

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	153,295	24,771	16.2	1,317.10
28年2月期	144,611	24,665	17.1	1,311.47

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 24,771百万円 28年2月期 24,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	ー	0.00	ー	25.00	25.00
29年2月期	ー				
29年2月期（予想）		0.00	ー	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,250	5.6	1,670	△20.0	1,670	△20.1	1,000	△21.1	53.17
通期	20,890	7.1	3,900	1.6	3,900	1.5	2,350	0.7	124.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	18,807,700株	28年2月期	18,807,700株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	124株	28年2月期	124株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	18,807,576株	28年2月期1Q	18,807,605株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成28年3月1日～平成28年5月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。

しかしながら、中国を始めとした新興国経済の減速や海外経済の下振れ懸念、株式市場の低迷や円高の進行など金融市場変動の影響もあり、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、クレジットカード決済領域の拡大・浸透等に加え、決済市場のキャッシュレス化が進行し、ショッピングの取扱高は堅調な状況が続いております。

一方で、金融商品は貸金業法の影響が依然として残り、引き続き厳しい状況が継続しております。

このような状況において、当第1四半期累計期間の業績は次のとおりであります。

①カード事業

（ア）包括信用購入あっせん

アピタ・ピアゴ年間利用者1,000万人突破を記念して、UCSカード会員を対象としたポイントキャンペーン企画を実施いたしました。また、飲食、レジャー施設等の提携加盟店とのクーポン企画や利用促進キャンペーンの実施により、取扱高の拡大に取り組みました。

この結果、取扱高は167,356百万円（前年同期比3.2%増）、営業収益は3,310百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

（イ）融資

貸金業法の影響が依然として残り、取扱高および残高は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

この結果、取扱高は3,301百万円（前年同期比8.8%減）、営業貸付金残高は11,097百万円（前期末比0.8%増）、営業収益は484百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

（ウ）電子マネー

ポイント山分けキャンペーンの実施、他業種ポイントからユニコポイントへの交換サービスの拡充等により、取扱高の拡大に取り組みました。

この結果、取扱高は46,454百万円（前年同期比13.2%増）、カード発行手数料等を合わせた営業収益は506百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

その他の営業収益をあわせ、カード事業の営業収益合計は4,486百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

営業費用につきましては、包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高増加に伴うポイント費用の増加、カード会員募集強化に伴う費用の増加等により、3,787百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

以上の結果、カード事業の営業利益は699百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

②保険リース事業

（ア）保険代理業

企業向けの損害保険は苦戦したものの、保険ショップを中心とした生命保険が堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は429百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

その他車両リース等の収益を合わせ、保険リース事業の営業収益合計は471百万円（前年同期比3.1%減）となり、営業利益は216百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

以上の結果、当社の取扱高は217,113百万円（前年同期比5.0%増）、営業収益は4,957百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は915百万円（前年同期比10.9%減）、経常利益は915百万円（前年同期比10.9%減）、四半期純利益は575百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部におきましては、主に包括信用購入あっせんの取扱高増加により割賦売掛金が増加し、加えて、電子マネーの取扱高増加により預け金が増加いたしました。この結果、資産合計は153,295百万円となり、前事業年度末に比べ、6.0%増、8,684百万円増加しております。

負債の部におきましては、主に包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高増加により、買掛金が増加するとともにポイント引当金が増加しました。この結果、負債合計は128,524百万円となり、前事業年度末に比べ、7.2%増、8,578百万円増加しております。

純資産の部におきましては、主に四半期純利益を575百万円計上したことにより、純資産合計は24,771百万円となり、前事業年度末に比べ、0.4%増、105百万円増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想は、概ね計画通りに推移しており、平成28年4月7日に発表いたしました見通しから変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社は、賃貸資産以外の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得の建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、親会社であるユニーグループ・ホールディングス株式会社が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更することを契機とし、有形固定資産の減価償却方法を見直したものです。

当該見直しの結果、当社における有形固定資産はその使用期間中に均等な使用になると見込まれること、収益が安定的に発生していることなどを総合的に勘案し、当社において、定額法を採用したほうが収益と費用の対応関係がより適切であり、当社の経営実態をより適切に反映させることができると判断し、当第1四半期会計期間より有形固定資産の減価償却の方法を定率法から定額法へ変更いたしました。

この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,502,541	1,009,895
割賦売掛金	103,212,915	110,298,505
営業貸付金	11,290,232	11,367,970
未収収益	1,459,024	1,640,037
未収入金	1,036,552	970,305
預け金	19,235,670	20,859,566
その他	2,753,946	3,112,861
貸倒引当金	△654,000	△637,000
流動資産合計	139,836,882	148,622,142
固定資産		
有形固定資産	2,072,506	2,118,265
無形固定資産	1,728,311	1,609,707
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,047,018	1,024,959
貸倒引当金	△73,286	△79,635
投資その他の資産合計	973,731	945,324
固定資産合計	4,774,549	4,673,296
資産合計	144,611,431	153,295,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,895,696	67,828,486
短期借入金	43,658,667	43,281,453
1年内返済予定の長期借入金	2,300,000	2,800,000
役員賞与引当金	21,939	-
賞与引当金	82,000	123,000
ポイント引当金	1,788,000	2,530,000
その他	5,957,599	5,207,995
流動負債合計	112,703,902	121,770,935
固定負債		
長期借入金	5,500,000	5,000,000
利息返還損失引当金	1,690,000	1,703,000
その他	52,045	50,074
固定負債合計	7,242,045	6,753,074
負債合計	119,945,948	128,524,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,610,890	1,610,890
資本剰余金	2,001,890	2,001,890
利益剰余金	21,047,922	21,153,154
自己株式	△76	△76
株主資本合計	24,660,625	24,765,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,857	5,571
評価・換算差額等合計	4,857	5,571
純資産合計	24,665,483	24,771,429
負債純資産合計	144,611,431	153,295,439

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	3,220,715	3,310,662
融資収益	541,522	486,034
電子マネー事業収益	456,097	506,539
保険代理業収益	433,880	429,168
その他の収益	250,326	225,413
金融収益	207	0
営業収益合計	4,902,749	4,957,818
営業費用		
販売費及び一般管理費	3,829,209	4,003,758
金融費用	46,153	38,588
営業費用合計	3,875,362	4,042,346
営業利益	1,027,386	915,472
営業外収益		
雑収入	853	287
営業外収益合計	853	287
営業外費用		
雑損失	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	1,028,239	915,759
特別損失		
固定資産除却損	3,680	54
特別損失合計	3,680	54
税引前四半期純利益	1,024,559	915,704
法人税、住民税及び事業税	721,242	627,264
法人税等調整額	△302,772	△286,981
法人税等合計	418,470	340,283
四半期純利益	606,089	575,421

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	4,416,365	486,383	4,902,749
セグメント利益	807,054	220,332	1,027,386

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	4,486,278	471,540	4,957,818
セグメント利益	699,212	216,259	915,472

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成28年2月の組織変更により、従来カード事業に含めておりましたクレジットカード会員に対する保険代理業については、保険リース事業に集約しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、組織変更後の区分に基づき作成しております。